

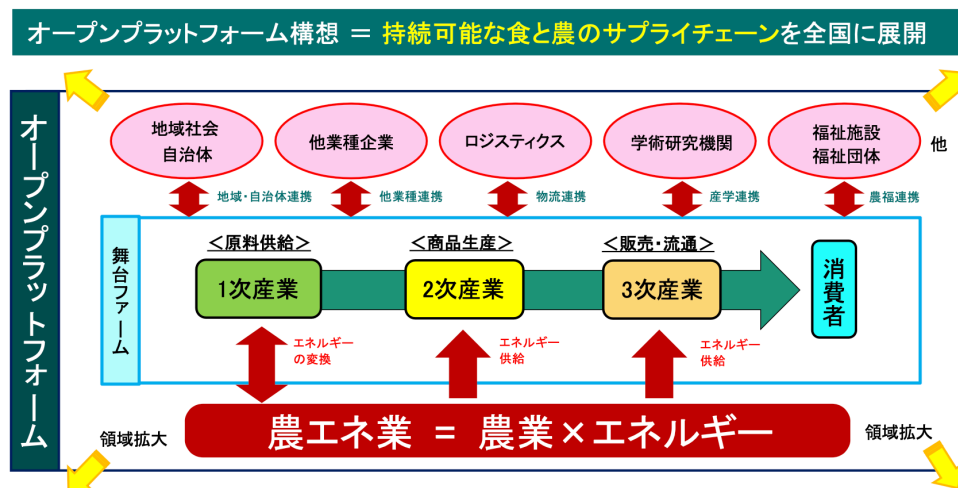
2026年4月3日

報道関係者 各位

「農業×エネルギー」の新産業モデルを構築
日本最大級の「営農型太陽光発電設備」が稼働
 ～地域共創による持続可能な農業の構築へ～

株式会社舞台ファーム（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：針生信夫）は、宮城県美里町にて日本最大級となる「営農型太陽光発電設備」を稼働いたします。

本設備は、当社が掲げる「オープンプラットフォーム構想」のもと推進してきたものであり、「農業エネルギー」を軸とした新たな産業モデルの実装を目的としています。



■ “農エネ業” ～なぜ今「農業×エネルギー」なのか～

○日本農業が直面する構造課題

日本農業は現在、担い手不足や高齢化、耕地面積の減少に加え、気候変動による収量の不安定化や需給バランスの変動など、複合的な課題に直面しています。さらに、スマート農業の進展に伴い、ロボットや環境制御設備などの導入が進むことで、農業における電力需要は今後さらに増大していくことが見込まれています。こうした状況は構造的な課題であり、農業という産業構造そのものの転換が求められている段階にあるといえます。

○「農エネ業」という新しい産業概念

舞台ファームは、この課題に対する解として、農業とエネルギーを一体で捉える「農エネ業」という新たな産業概念を提唱しています。従来の農業は太陽光を利用して作物を育てる産業でしたが、現代の農業は電力を前提とした高度な生産システムへと急激に変化しています。

「農地」を、人の食料を生産する重要な位置付けであると同時に、ロボット・機械の食料である「電気エネルギー」も供給するものへも、進化させていきます。

< 営農型太陽光発電設備 概要 >

- 事業主体： 株式会社舞台ファーム
- 設置場所： 宮城県美里町中塚（なかぞね）
- 取組面積： 約 3.9ha（約 39,000 m²） 遮光率 27.9%
- 発電規模： 交流出力（AC） 1,500kW / 直流パネル総容量 2,474kW
モジュール： 620W 両面発電型 3,990 枚 PCS： 100kW15 台
- 総事業費： 450,780,000 円
令和 7 年度 宮城県みどりの食料システム戦略緊急対策交付金も活用
- 竣工日： 2026 年 2 月 19 日
- 施工会社： 株式会社イクト（本社所在地：静岡県袋井市）
- 耕作地： 水田（生產品目＝米）： 初年度は「にじのきらめき」を作付予定



< 太陽光発電設備 概略図 >



< EVステーション (3台設置) >

■ 本設備が担う役割

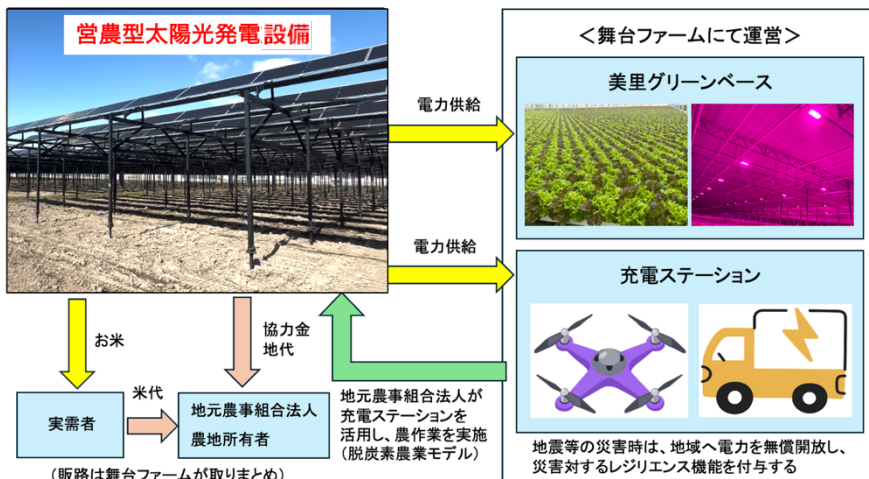
本設備の稼働により、日本最大級の植物工場である「美里グリーンベース」において使用する電力の約78%を太陽光発電によって賄うことを想定しており、エネルギーコストの安定化と脱炭素の両立を実現します。さらに、発電された電力は、周辺農業者への供給や、災害時には地域社会への電力供給機能としても活用されます。このように本設備は、単なる発電設備ではなく、農業・エネルギー・地域を一体的に結びつける基盤としての役割を担います。



< 新設された太陽光発電設備 >

■ 本件設備の特徴について

- **農業機械が活動できる空間設計：**
太陽光発電の架台には「藤棚方式」を採用。支柱の間隔は約 4.7m、最低地上高さを 3.0m に設定し、農業用機械が作業可能な空間を確保しました。
- **地域環境に配慮したデザイン：**
太陽光発電の架台は「黒色・マット加工による塗装」を実施しており、地域環境に配慮した目立たないデザインとなっています。
- **美里グリーンベースの電力を約 78%カバー：**
本設備の稼働により、日本最大級の植物工場である「美里グリーンベース」で使用する電力の約 78%を太陽光発電で賄うことを想定しています。
- **地域農業者との連携と電力提供：**
美里グリーンベースに「EV ステーション」を併設。舞台ファームと連携する周辺農家へ電力供給を行います。創出された電力の有効活用による農業所得の向上、ならびにスマート農業の推進による生産性の飛躍的向上を通じ、持続可能な農業への転換が期待されます。また、地震などの大規模災害発生時には、EV ステーションを通じて地域社会へ電力を提供します。
- **美里町および建設周辺地域との連携：**
営農型太陽光発電設備の建設に先立ち、美里町および周辺地域と深く連携し、2024 年 4 月に「美里町アグリ・カーボンニュートラル推進協議会」を設立。先進事例の視察や懸念事項などの洗い出しを実施した上で、周辺地域とコンセンサスを取りながら、新たな農業のカタチである「美里モデル」として、本件事業を共同推進しています。
- **神明ホールディングスとの連携：**
舞台ファームは、「神明ホールディングス」が有する米に関する高い専門性や豊富な経験知などを活かし、同社の協力・支援のもと、本件設備での営農実証に共同で取り組みます。共同実証で得られたノウハウや技術を基盤に「新たな営農モデル」を構築し、両社で全国へ展開していきます。



<美里モデル 概略図>



<美里町アグリ・カーボンニュートラル推進協議会>

■ 今後の事業展開について

今後は、本設備を起点とした実証を通じて、エネルギーを組み込んだ新たな農業モデルの確立を進めてまいります。発電した電力を農業経営に取り込むことで、エネルギーコストの安定化と収益性の向上を図るとともに、ロボットや環境制御技術の導入を前提としたスマート農業の高度化を推進します。

農業の持続性を支える基盤として、人材の確保と育成にも重点的に取り組みます。舞台ファームがこれまで培ってきた農業人材の育成および現場支援のノウハウを活かし、技術支援にとどまらず、経営支援まで含めた包括的な支援体制を構築し、自治体と連携した地域農業の再生に貢献していきます。

本事業で得られた知見や技術をもとに、地域特性に応じた形での横展開を進めていきます。営農型太陽光発電を核とした「農業×エネルギー」のモデルを各地に展開することで、農業の収益構造の変革と持続可能性の向上を図るとともに、日本全体の食料供給基盤の強化に貢献してまいります。

■ 代表コメント： 株式会社舞台ファーム 代表取締役社長 針生 信夫

本設備の竣工は、単なる発電設備の完成ではなく、当社がこれまで提唱してきた「農業×エネルギー」という新たな産業モデルの第一歩であると考えています。日本農業は今、大きな転換期にあり、従来の延長線上では持続的な成長が難しい状況にあります。農業とエネルギーを一体で捉え、農地を「食料」と「エネルギー」を同時に生み出す基盤へと進化させていくことは、これからの農業の在り方の一つになると確信しています。舞台ファームはこれからも、農エネ業を推進し、持続可能な農業の実現と、日本の食料供給の未来に貢献してまいります。

【株式会社舞台ファーム 概要】

- 所在地： 宮城県仙台市若林区日辺字田中11番地
- 設立： 2003年7月
- 資本金： 5,000万円
- 代表者： 代表取締役社長 針生 信夫
- 業務内容： 野菜・米の生産・販売、生食用カット野菜などの加工・販売
実践型農業コンサルティング、電力関連事業 など

【美里グリーンベース 概要】

- 施設名： 舞台ファーム「美里グリーンベース」
- 所在地： 宮城県遠田郡美里町中塚字新上戸東36番地
- 面積： 敷地75,550㎡、建屋51,364㎡（うち栽培エリア44,605㎡）
- 生産能力： レタス類 1日当たり約4万株～5万株
- 竣工日： 2021年8月10日

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社舞台ファーム 伊藤・斎藤

TEL: 022-289-6768 e-mail: saito_yoshi@butaifarm.com